

令和3年8月16日

学識経験者 廣島 義和

はじめに

阿波市第一次教育振興計画（後期計画）では、教育ビジョンの基本理念を「未来をつくる力」「たくましくいきる力」「郷土を愛する心」とし、基本目標を「人が輝く まちが輝く 未来が輝く（阿波の人づくりプラン）」と定めている。

さらに、教育目標を7項目掲げ、「令和2年度 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価に関する報告書」として、各項目についての評価・結果を取りまとめている。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定では、阿波市教育委員会の事務に関する点検・評価については、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行い、その結果報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされている。

その際、教育に関する学識経験者の知見活用を図るとなっており、一市民としての立場から所見を述べたい。

特に、該当年度は、コロナ禍によるソーシャルディスタンスの必要性から多くの集会行事等が取りやめとなり、各部署が当初計画していた各種施策が中止となるやむなき状況となった。その点を踏まえ、各点検評価について考察を加えたい。

1 点検・評価について

報告書は、推進施策27（実施事業73）に対する事業評価「以下事業評価」と教育振興後期計画における重要施策の業績評価指標一覧「以下評価指標一覧」から成る。推進施策毎にPDCAに基づく評価がなされている。また、重要施策事業についてKPI（重要業績評価指数）並びに目標値が設定されており、該当年度の実績値が記載されている。

事業評価73事業のうちA評価は6事業（約8%）、B評価67事業（約92%）である。また事業の方向性は、Aすべて「現状のまま継続」、B「さらに重点化」（4）、「見直しのうえ継続」（3）、「現状のまま継続」（61）である。

評価指標一覧に関して、KPI・目標値（46）中、19（前年度10）が目標達成されている（約41.3%）。

以上からわかることは、A評価6事業については、学校教育課の「幼稚園教育要領に基づく教育の実施」「豊かな学力の充実」「環境教育の充実」、社会教育課の「学習体系の定期的な見直し」「各種講座の開催」「市民参画の推進」となっている。

学校教育課「幼稚園教育要領に基づく教育の実施」については、十分な取組がなされており、令和3年からは、就学前教育が幼保連携型認定こども園に収れんされる。こども園担当部署と連絡を密にした子どもの育成をより一層推進してほしい。また、「豊かな心の育成」の中で、小学校での阿波市の名所・旧跡めぐりの実施など、郷土の文化財についての学習をしており、郷土に誇りの持てる子どもの育成に寄与されている。「環境教育の充実」では、新・学校版環境ISOをすべての小・中学校が取得し、継続認定を受けている。環境保全・美化、環境学習活動ができており、子どもたちの環境への意識・関心のさらなる高まり、行動へと期待できる。さらに、社会教育課の「学習体系の定期的な見直し」「各種講座の開催」「市民参画の推進」では、受講生アンケートによるニーズ調査を実施し、市民ニーズの反映に努めている。今後、受講生だけでなく、市民アンケートなどの機会に、また抽出による市民ニーズ調査など可能であればお願いし、さらなる充実をお願いしたい。

どの事業も教育行政の重要な課題であり、さらに継続した取組により、子どもたちの

安心安全な豊かな教育環境の整備と教育実践が大いに期待される。

次に、B 評価のうち、「さらに重点化する」(4) は、すべて学校教育課で、「確かな学力の育成」「職員の資質向上」「障害のある子どもの環境づくり」「地域全体の連携強化」となっている。どの事業も教育行政の重要な課題であり、さらに重点化することにより、子どもたちの安心安全な豊かな教育環境の整備と教育実践が大いに期待される。特に、GIGA スクール構想による一人一台タブレット配布による ICT 機器活用授業が本格化するが、ICT 支援員として教育研究所研究員等の派遣による技術面・運用面での支援並びに小・中学校教職員対象の阿波市教育情報セキュリティポリシーの研修等の充実を図り子どもの安心安全を担保できる効果的な ICT 活用をお願いしたい。

次に、B 評価「見直しのうえ継続」(3) は、社会教育課の「ばわーあっぷ事業」「英会話教室の開催」、学校教育課の「国際理解の教育」となっている。「ばわーあっぷ事業」については、中学生徒の受講生増加を課題としており、今後とも、子どもたちの学力定着・向上、人権学習のパワーアップとなる支援をお願いしたい。また、「英会話教室、国際理解教育」についても、4 人の ALT を全中学校に、5 人の日本人英語指導講師を全小学校に配置し、就学前から継続した小学 1 年生スタートの英語学習など、英語学習指導に熱心に取り組んでおり、社会教育においても多くの参加者が英会話教室等で英語に触れ国際感覚を養っている。更なる見直しにより一層の興味・関心・意欲向上となるよう期待する。

次に、ほとんどが B 評価・「現状のまま継続」である。概ね成果が上がっているものと思われる。約 92% が B 評価であることは各部署における取組に一定の成果が上がっていると評価できる。各部署の取組に感謝し敬意を表する。

次に、課題や今後の方針 (Action) について、前年度と表記が同じもの (60)、具体的方針等を記入したもの (13) となっている。前年度継続、並びにより重点化することから同じ内容となることも考えられるが、課題を検討する中で新たな方向性を設定することも重要である。今後とも PDCA-C (check) 検証評価のより高い精度を期待する。

2 主要事業について (業績評価指標一覧から見えるもの)

(1) 学校教育「食育を基盤にした、地・徳・体の調和のとれた生き抜く力の育成」

業績評価 (以下 KPI) では、13/18 (9/18) である。【R2 実績値/目標値、() 内前年度】 (以下同様表記) 全般的に達成項目が増えており取組の成果がうかがえる。

未達成は、「英語活動に進んで参加する児童の割合」である。上述のとおり、ALT、日本人英語指導講師の活用や小学校 1 年生から英語活動が進められており、さらに子どもの意欲・興味・関心を高める工夫をお願いしたい。また、「肥満傾向の児童の割合小学校 5 年生」「1, 2 歳児の肥満度割合」について、女子のほぼ達成があるものの、まだ課題が残っており、体力向上指導員派遣事業やスポーツ推進委員のさらなる活用を進め、一層の体力向上計画を推進してほしい。

(2) 生涯学習「主体性を尊重し、人間性と創造性を発揮する環境づくり」

KPI では、0/6 (1/6) となっている。コロナ禍の影響が大きいと思われる。

今後は、これまで以上にケーブル TV での活用、例えば、過去のアーカイブの中から放映する、リモートでの実施など課題は多いと思うが工夫についての検討をお願いしたい。なお、生涯学習については A 評価が 3 事業あり、アエルワを拠点とした各種講座や自然観察会の取組など大きな成果を上げている。

(3) スポーツ振興「健康で気力あふれる人が育つスポーツ環境づくり」

KPI では、2/5 (1/5) となっている。この項目に関しても、コロナ禍が影響しており、阿波シティマラソンや阿波ジュニア駅伝の中止など十分な活動ができなかった。目標として市民ひとり1スポーツをめざしており、さらなる市民のスポーツライフの促進に努めてほしい。駅伝についても、競技人口が減少傾向の中、小学生段階からの育成を今後の方針として掲げられており是非とも効果的な取組となるよう期待する。

(4) 芸術・文化振興「郷土を愛する心と創造力が育つ、新しい歴史と伝統を生み出す環境づくり」

KPI では、1/4 (1/4) となっている。「芸術文化の振興施設の市民満足度」目標値 50 のところ、平成 26 年度実績値 38.9 (前年度データ無)、令和 2 年度実績 44.0 である。アエルワは県下に誇れる施設であり、評価は高い。目標値 50 も妥当かどうか疑問だが、市民調査などでのニーズ把握も必要ではないか。また、歴史館展示室入場者数 403/1,100 (487/1,100) については、コロナ禍の影響も大であるが、HP の整備工夫をするなど市民へ収集物等の情報提供に努めてほしい。

令和 4 年には指定文化財ガイドブック刊行が予定されており、さらなる阿波市史跡、文化財活用の充実を期待したい。

(5) 青少年健全育成「生命の尊重と真摯に生きる力が育つ環境づくり」

KPI では、3/7 (2/7) であり、「正しい生活リズムの定着」87.3/100 (データ無) について、生活チェックでの自己改善や健康教育参観日等を通じた保護者の意識高上を図るなど取り組んでおり、今後とも、生活習慣改善プロジェクト等、なお一層の推進をお願いするとともに、子どもたちの健やかな成長のための規則正しい生活習慣の醸成を期待する。

(6) 人権教育「他者を尊重する心が育つ、平和で豊かな社会づくり」

KPI では、人権啓発事業参加者数が 274/1,560 (1,331/1,560) となっており、これについても、コロナ禍のため、全国・四国・県人権教育研究大会の中止、市人権フェスティバル・人権問題講演会・市内企業人権研修会が中止となり影響が大きく反映された結果であろう。今後もコロナ禍の影響を受けることが予想され、人権啓発期間中等に、ケーブル TV 等での過去のアーカイブ等の再放送やリモートによる対応など、今後の対応についての検討をお願いしたい。

(7) 国際交流「国際感覚豊かな人が育つ環境づくり」

KPI では、1/5 (1/5) となっている。この件についても、コロナ禍の影響を受けていると考えられる。開催回数、参加人数ともに減少している。今後とも、市民への情報提供や市民の自主的な国際交流活動が一層進展する工夫をお願いしたい。

また、幼稚園からの英語活動については、今後の方針に掲げられているように、健康福祉部と連携した認定こども園での英語活動の継続が小学校へのさらなるつながりとなることを期待する。

3 おわりに

日ごろ、多大な時間・労力を費やし熱心に教育行政に取り組まれている教育委員会を始め関係者の皆様に感謝と敬意を表する。

2020（令和2）年度は、第1次教育振興計画・後期計画の最終年であり、教育ビジョン10年間「2011（平成23）年～2020（令和2）年」の最終まとめとなっている。

今回は業績評価指標（KPI）からの考察・所見を軸として行った。第1次教育振興計画執行の最終年としての評価、KPIから見ると、19/46（41.3%）が目標値をクリア、または、ほぼクリアしており約半数が達成している。さらに、各部署の実施事業73においては、総合評価はB以上であり、概して取り組みの成果がうかがえる。各部署、関係課の皆様のご取組に改めて感謝と敬意を表する。2021（令和3）年から第2次教育振興計画がスタートしており、本報告書の評価結果を十分検討し、KPIの目標値を達成するべく「あすに向かって 人の花咲く 安らぎと感動の郷土・阿波市」の実現に向け一層の取組をお願いしたい。

はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和2年度に教育委員会が実施した事業についての点検及び評価結果を議会に提出するとともに、市民に公表し、今後の教育行政のさらなる充実を図るためのものです。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、社会全体の活動や生活様式の変革が求められている今、これまでの事業内容・方法の改善や新たな活動への取り組みが必要とされています。そこで、この報告書が今後の新たな取り組みにつながることを期待して、学校現場での経験を生かすとともに、阿波市民としての立場から所見を述べさせていただきます。

1. 点検・評価について

阿波市第1次教育振興計画（後期計画）で策定した「5年間の主要事業」全73事業を対象事業として、それぞれに評価シートを作成し評価しています。PDCAのサイクルを使いわかりやすくまとめられています。また、私自身も学校現場で多くの事業を活用させていただき、阿波市の教育に対する手厚い支援と前向きな取り組みは、他都市にはない素晴らしい姿勢だと思っています。

前年度の評価と本年度の評価を比べてみると総合評価で「A：優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている。」が全部で6事業、その内「B」から「A」になった事業が3事業ありました。残り67事業は全て「B：優れた取り組みがいくつかあり、成果が上がっている。」でした。確かに成果は上がっていますが、さらなる取り組みによって「A：十分な成果」になる事業を増やしてほしいと思います。

また、事業の方向性についてもほとんどが「現状のまま継続する」、4事業が「さらに重点化する」、3事業が「見直しのうえ継続する」となっており、「Action：課題や今後の方針」についても多くの事業で前年度と同じ内容になっています。

本来この評価シートは、前年度の事業内容を点検整理し、次年度に向けてよりよいものへと改善していくための指針として活用するものだと思います。

現在新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの取り組みが中止となり、総合評価（B）・事業の方向性（現状のまま継続）となることは理解できますが、「見直しのうえ継続する」「事業の縮小を検討する」ことも必要ではないでしょうか。事実、12事業については課題や今後の方針を見直しています。

今後、内容の工夫や改善の検討をしていただき、計画的に次年度の事業が実施でき、充実したものとなりますよう、十分な検証を行ってほしいと思います。

2. 主要事業について

(1) 学校教育

学校教育関係全27事業において一定の成果を上げており、優れた取り組みが数多くあると思います。

「幼児教育」について、認定こども園への移行がスムーズに進み、それぞれの園の特徴を生かしながら、保護者のニーズや子どもの発育に応じた教育活動が推進できていると思います。今後は、各小学校との連携を強化してほしいと思います。

「確かな学力の育成」について、学力向上推進講師10名・英語指導講師5名を各小学校に配置していることは、全国にも誇れる先進的な取り組みだと思います。英語指導

講師については、平成 18 年度から配置していたため、小学校教育課程への外国語（英語）科・活動の導入、小・中・高の指導の連携において、学習指導要領が改訂（小学校令和 2 年度、中学校令和 3 年度）されても、スムーズに実践につなげることができています。また、現在の教育活動の変化の状況を考えると、子どもたちへの細やかな対応を図るには、専門的な知識を持った人材の確保と育成が重要となります。そのためにも、学力向上推進講師の今後の継続と一層の充実をお願いします。

「学校の施設設備」については、耐震工事・エレベーター設置・教室へのエアコンの設置・ICT 機器の充実等が毎年計画的に整備されてきました。そのおかげで、めまぐるしく変化する現在の社会環境や状況の中でも、阿波市内の学校は、慌てることなく安心して子どもたちの教育をすることができています。予算が伴いますが今後も教育の実践に必要な整備をお願いします。

「子どもへの教育環境づくり」については、生徒指導・特別支援教育・防災教育等様々な分野があります。その全てに共通しているのが、各関係機関との連携です。それぞれの事象に対するマニュアルを整理しておくとともに、相談・実践が素早く行える体制づくりの推進を図ってください。

「食育」については、毎年阿波市の農産物を利用した様々な取り組みがされており、子ども達や親の意識の中に、食への関心と地元野菜への興味が高まってきているように思えます。給食センターによる学校給食での食育の取り組みと、市学校食育推進会議を中心とした積極的な体験活動の実践により、阿波市全体に広がる食育の推進をお願いします。

(2) 生涯学習

生涯学習関連施設の整備充実・機能強化については、図書館の機能の充実と地域の公民館の改築工事も計画的に行い、地域において充実した施設の中で学習する条件は整っています。また、新型コロナウイルス感染防止のため多くの事業が中止となる中、多岐にわたる講座を提供し、多くの市民が参加できていることは、十分評価できると思います。しかし、昨年度と比べてみると、ほとんどの講座等において、参加者の減少が見られます。現在の社会状況の中、仕方がない面もあると思いますが、講座内容が本当に市民のニーズに合ったものなのか検証する必要があると思います。受講生を対象としたアンケートだけでなく、ホームページや広報によるアンケートを実施するなど、幅広く市民の意見を聞き、魅力ある講座の提供をお願いします。

図書館の運営については施設や蔵書数が充実しており、図書館利用者数や貸し出し点数、お話し会など様々な取り組みにおいても十分評価できる内容です。しかし、全ての図書館において、入館者数・貸し出し点数・貸し出し者数が前年度より減ってきているのが気がかりです。今の図書館が、市民のニーズに合った運営・設備となっているのか今一度見直し、市民にとって魅力ある図書館となるための、運営の充実と環境の整備を図ってほしいと思います。

(3) スポーツ・芸術・文化振興

「スポーツのまち阿波市」をめざして、各種スポーツ事業の実施とスポーツ施設の整備を進めてきたおかげで、市民のスポーツへの関心の高まりを身近なものとして感じています。各種の大会において活躍している選手や団体も増えて来ました。また、体力・運動能力の向上だけでなく、幅広い世代がそれぞれの目標を持ってスポーツを楽しむことで、心身の健康づくりにもつながっています。

今後さらなるスポーツ活動の普及促進と市民の意識の高揚を図るのためにも、誰もが気軽に参加できる新たな講座等の実施とこれまでの講座内容の改善を図り、多くの市民が楽しんで参加できる事業の実施をお願いします。

芸術・文化振興については、阿波市の史跡や文化財、歴史遺産に対する市民の意識を高めることが大切だと思います。そのためにも、市民が参加しやすく興味が湧く事業内容の工夫が必要だと思います。

(4) 青少年健全育成

青少年の健全育成については、本年度は合同の補導活動、防犯教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、不審者対応訓練、補導活動等は学校・青少年育成センター・警察の連携のもと開催されており、安全な環境づくりへの取り組みができています。今後も、学校・地域・関係機関の協力体制の確立と地域で子どもや家庭を支援するネットワークづくりの整備を進めてください。

(5) 人権教育

様々な人権課題が存在する中、今も新たな人権問題が生じています。阿波市はこれまで、研究大会への参加や人権啓発講座・人権フェスティバル・人権問題講演会等市民を対象とした事業を毎年実施し、人権意識の高揚と指導者の育成に取り組み、成果を上げてきました。そのおかげで、市民の人権意識が高まり、資質も向上してきていると思います。しかし、今必要なのは「意識を行動に移すこと」だと思います。今後も、市民の人権意識の高揚を図る取り組みとともに、実践力のある人材の育成を目指してほしいと思います。

(6) 国際交流

幼稚園・認定こども園で英語活動を実施することにより、小学校の外国語活動への移行がスムーズにできています。それは、小さいときから英語に親しむことが興味や関心の高まりとなり、小学校からの外国語学習への意欲につながっているからです。

今後も、幼稚園から外国語の楽しさを伝え、幼・小・中学校での一貫性のある外国語教育を一層進め、市の目指す将来の国際理解教育への充実を図ってください。

おわりに

昨年度に引き続き、7つの教育目標について意見を述べさせていただきました。この目標は、阿波市の人材育成のために考えられたものであり、毎年成果を積み上げてきた事業がほとんどです。また、全ての事業は、今後も継続していかなくてはならない内容ばかりだと思います。

しかし、現在の社会状況においては、事業によっては内容の精選や工夫改善を図る必要があります。収束まで待つのでなく、事業を絞り込み、人員をかけて設備の充実を図り、安全対策を取ったうえで実施する等の対策が大切だと考えます。

大きく変化する社会状況だからこそ積極的な点検・評価を行い、これまでの事業内容・方法の改善や新たな活動への取り組みを図ってほしいと思います。そして、阿波の人づくりプランの実現に向けた魅力ある事業の実施を期待しています。